

事務事業評価表（内部管理事務等）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	道水路等維持補修事業		コード	14109	
2 担当部課	部等	建設水道部	課等	土木課	
	作成者	中楯博一			
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適な生活を支え、住み続けたいまち		
		政策	都市基盤の整備	施策	幹線道路と交通網の整備
		予算科目	道路橋梁総務管理費／道水路維持補修費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	道路法、河川法、道路交通法		

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	道水路利用者の安全を確保するために、道水路施設等を良好な状態に維持する。	
目的	対象者	道水路利用者や市民
	意図	円滑な道路交通を確保して、市民生活の安全を図る。

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
	<p>（1）通常の道水路パトロールのほかに、毎月3回建設水道部職員の協力を得て5班体制で月ごとにテーマを決めて道水路パトロールを実施した。</p> <p>（2）計画的な舗装修繕等として27箇所、道水路パトロールや市民からの情報等に基づく道水路施設等の維持補修として64箇所、合計91箇所（繰越含む）の維持工事を行った。また、浚渫土砂運搬、測量設計、伐採等の委託業務を48件実施した。</p> <p>（3）常温プラントで舗装合材を107t練り、直営で舗装の補修を実施した。</p> <p>（4）冬季の道路管理では、凍結防止剤の散布を延べ54回散布し、部分除雪や雪捨て場の整地を実施した。また、直営による滑止め用の砂袋や塩カルの配布を実施した。</p>	
前年度の課題への対応	将来的に維持管理を行う市道の選定にあたり、岡谷市立地適正化計画の居住誘導区域内との調整を図る。	

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）				[単位：円]
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)	
① 直接事業費	177,336,557	219,713,777	464,412,072	571,564,000	
経常経費	55,043,841	60,576,139	73,200,542	48,479,000	
臨時的経費	122,292,716	159,137,638	391,211,530	523,085,000	
* 臨時的経費の説明	交付金を活用した舗装等の補修工事関連（繰越事業含む）				
② 人件費	26,400,000	26,400,000	30,400,000	30,400,000	
正規職員の人数（人）	3.30	3.30	3.80	3.80	
③ 合計コスト（①+②）	203,736,557	246,113,777	494,812,072	601,964,000	
前年度比		120.8%	201.1%	121.7%	
財源	93,205,557	133,078,777	138,432,072	46,609,000	
内訳	110,531,000	113,035,000	356,380,000	555,355,000	
* 特定財源の説明	社会資本整備総合交付金、公共事業等債、公共施設適正管理推進事業債、信州の森林づくり事業補助金				
④ コストに関する補足説明					

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
社会資本整備総合交付金	件数	3	4	2	7
	金額	27,931,000	34,635,000	16,680,000	151,950,000
信州の森林づくり事業 県補助金	件数			3	
	金額			9,000,000	
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	27,931,000	34,635,000	25,680,000	151,950,000
	割合	15.75%	15.76%	5.53%	26.58%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること) 社会資本整備総合交付金事業で実施している計画的な舗装修繕事業において、要望額に対する内示率低く財源不足のため、交付金事業として実施できないこと。また、公共施設等適正管理推進事業債で実施している計画的な舗装修繕事業では、令和3年度が事業終了となり、今後の財源確保が課題となる。
	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 社会資本整備総合交付金事業や公共施設等適正管理推進事業債に代わる計画的舗装修繕事業の財源を模索するとともに、維持修繕を実施していく認定市道路線の選定を行っていく。
改善方法	
改善開始時期	令和4年4月

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	A
----------	--------	---	---